

【実施日時・場所】令和2年5月9日（土）ZOOMによるオンライン研修

【研修の様子】

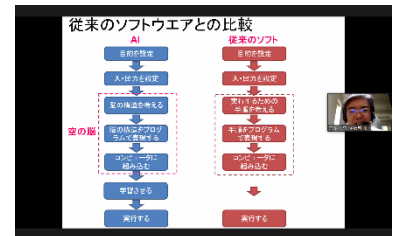
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一堂に会する研修会ではなく、ZOOMを活用したオンライン研修会を実施しました。福島県内の会員はもちろん、この取組みに関心をもっていただいた全国のSSTA会員の皆様にも参加していただき、とても有意義な研修を行うことができました。



【研修内容】

① プログラミング教育に関する講義

ソニー教育財団理科教育推進室長の武藤良弘様を講師にお迎えし、今年度から全面実施の学習指導要領における「プログラミング教育」導入の背景や意図についてご講演いただきました。



② プログラミングを体験してみよう【演習】

「モーターカーを走らせる」ことを目的とし、プログラミングの考え方について演習しました。モーターカーを走らせるために必要な「要素」を出したり、それをどのようにつないでいけばよいかを検討したりしました。



③ コロナ禍だからこそ見えてくる「理科教育」

研修会の後半では、コロナ禍だからこそ見えてきた「小学校理科」の本質について話し合いました。自然の事象を通じた直接体験が大切になること、観察、実験を通して複数の結果から考察することなど、参加者全員で大切にしたいことを再認識することができました。



【さいごに】

今回、ZOOMを活用した研修会を行ったことで、今まで遠方で参加しづらいと感じていた参加者にも多く参加していただきました。今後もZOOMを効果的に活用し、どんな立場の参加者にとっても有意義な研修会になるような工夫をしていきたいと思っております。